

# 婦人服製作



## ウール地でジャケットを製作する

17世紀後半、ヨーロッパにおいて現在のような洋服の基礎が出来上がりました。日本に洋裁の技術が伝わったのは、明治維新前後のことです。婦人服の洋裁化が始まったのは鹿鳴館時代のことで、第2次大戦後、活動的な洋服の需要が高まり、洋裁技術も大きく進歩しました。

### 競技概要 競技時間 10時間(1日目7時間/2日目3時間)

今回の課題は、無地のウール地で毛芯を使ったオーダーメイド仕立てで、きざみのあるヘチマカラーのジャケットを10時間で仕上げます。



第31回 競技課題

## Point



各自で製図した型紙を使い、競技は布の裁断から始めます。ハ刺しをした柔らかな返りのヘチマカラーには、角と丸みのきざみがあります。玉縁のポケット、袖口のスリット、シルエットを出す為のくせとり等、丁寧な作業と技術が必要とされ、熟練した技術を競います。

### 前回大会 金メダリストからメッセージ!

いろんな違った方向性を組み合わせながら、それを自分のものにしていただけたらいいかなあと思います!



アトリエ 節  
金武 節子 さん